

# 埼玉県議会議員 吉田よしのり 通信

第137号 2009(平成21)年 秋号

新座市野寺2-8-48(八石小学校となり) 〒352-0034

電話 048-483-2777 FAX 048-483-2780

メール [saitama@yoshiday.com](mailto:saitama@yoshiday.com)

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

【発行 民主党・無所属の会 皆様のご意見をお寄せ下さい！】



●1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(35才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て法政大学法学部卒業。卒業後、野村證券網に入社。入社後は金融業務の最前線、横浜、青森支店等に資産管理課、営業課にて勤務。

●2000年2月、新座市議会議員に市政始まって以来の 3, 855票でトップ当選。

●2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16, 598票で2位当選。

●2007年4月、同選挙に23, 062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派「民主党無所属の会」を結成。

現在、会派の政策審議会長。総務・県民生活常任委員会副委員長をつとめる。

●趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。

好きな言葉は「お前がやらずに誰がやる、今、やらずして、いつ出来る。」「初心不可忘」



## 吉田よしのりの一行日記

- 6/22 議会本会議、食品衛生協会総会
- 6/23-25 県議会・議案調査、会議等
- 6/26 議会本会議、警察官友の会総会
- 6/27 新座市消防団県外視察同行
- 6/28 県議会打ち合わせ会議等
- 6/29 県議会本会議・知事に対する要望
- 6/30-7/1 県議会本会議・本会議質疑
- 7/2 議会運営委員会、本会議質疑等
- 7/3 都議会議員選挙応援ほか
- 7/4 市内会議、障害者団体等夏祭り等
- 7/5 後援会事業、ゴルフ大会
- 7/6 県議会・文教常任委員会
- 7/7 都議会議員選挙応援ほか
- 7/8 県議会・公社事業対策特別委員会
- 7/9-10 県議会・本会議質疑等閉会
- 7/11 都市計画道路開通式典ほか
- 7/12 陸上競技会開会式、ホテルのタベ
- 7/13-14 県議会会議、国政報告会等
- 7/17 市長、議長との行政連絡会議等
- 7/18-20 県議会事務、市内夏祭り等
- 7/21-23 県議会公社事業特別委員会
- 7/24 衆議院事務所打ち合わせ会議等
- 7/25 新座阿波踊り大会準備、夏祭り等
- 7/26 さいたま市内書道展、打合せ会議等
- 7/27 新座市建設業関係暴力排除対策会
- 7/28 衆議院選挙関係会議等
- 7/29 事務所会議、市内地域訪問等
- 7/30 ひばりが丘駅頭、衆議院選会議等
- 7/31 市内夏祭り準備、事務所来客対応等
- 8/1 後援会幹部あいさつ回り、夏祭り等
- 8/2 日本発達障害学会(岩手大学)
- 8/3 志木駅頭、上田知事暑気払い等
- 8/4-5 県議会打ち合せ会議、市内地域訪問
- 8/6 朝霞台駅頭、県議会予算要望等
- 8/7 新座駅頭、市内地域訪問等
- 8/8-9 ひまわり祭り、狐のかみそり鑑賞会
- 8/10-11 マニフェスト研修会等
- 8/12 衆議院選挙対応会議等
- 8/13-14 さいたま市内貧困問題会議等
- 8/16-17 ひばりが丘駅頭、衆議院選会議等
- 8/18 衆議院選挙公示、選挙応援等

## 2009衆議院選挙、 政権交代実現へ！



12間の選挙期間を終え、衆議院選挙が終了しました。

戦後日本政治史上初の本格的な政権交代が実現し、いよいよ民主党新政権の下での日本政治がスタートします。

1994年、政治改革の一環で、選挙制度改革が行われ、それまでの中選挙区制度(一選挙区で複数人が当選する制度)から小選挙区制度(一選挙区で一人しか当選しない制度)が新たに導入され、選挙の度に議席が大きく変わる可能性が出てきた中で、初めての政権交代が実現しました。

昨年のアメリカ大統領選挙などでもご承知のとおりアメリカを始め、イギリスやフランス、ドイツなどでも常に政権交代が起こっており、先進国の中で政権交代が起こらない国は日本くらいであったため、ようやく日本の議会制民主主義も成熟度が増したとも評価されています。

裁判員制度が本年スタートしましたが民主主義の基本は、一般市民が政治や司法に参加するということです。めんどくさい、その道のプロにやってもらえば良いと言う発想(例えば司法では裁判官に、政治では官僚にやってもらえばよいという発想)であれば、その国は民主主義ではなく、社会主義ということになってしまいます。ある意味素人の一般市民が参加することは、もちろん時には政策的に誤ることもあり、正にそういったことを修正するためにも、政権交代は必要です。

さて、いよいよ民主党中心の政治がスタートします。民主党の基本政策マニフェストでは、子供手当月額2万6千円、首都高速など一部を除く高速道路の無料化、公立高校の実質無償化、天下りの全面禁止、年金制度の一元化と月額7万円の最低保障年金、後期高齢者医療制度の廃止、障害者自立支援法の廃止など、多くを訴えています。

また、その財源についても根拠が不十分として色々と批判されていましたが、今回マニフェストで民主党が掲げた主要施策にかかわる財源は約17兆円です。私は総額200兆円以上の総予算から優先的に予算配分することが不可能であるとは考えていません。

ただ、いずれにしても多くの国民から民主党マニフェストには期待が集まっています。「出来なければ次はない」という崖っぷちの民主党をしっかりと監視していくことが今後、国民が行っていかねばならないことかもしれません。

私自身も一議員としてしっかりと監視し、皆様に情報を提供してゆきます。

